

VI 考察

看護職員の需給数を各種の方法で推計した結果は図1、図2に示すようであった。各推計による2010年時点での予測必要看護職員数には60万人程度の幅がある。一方、予測される供給数は予測必要看護職員数の範囲内にあることが確かめられた。

図1 需要と供給の推計（病床利用率過去5年・一般一括・高水準と現状水準）

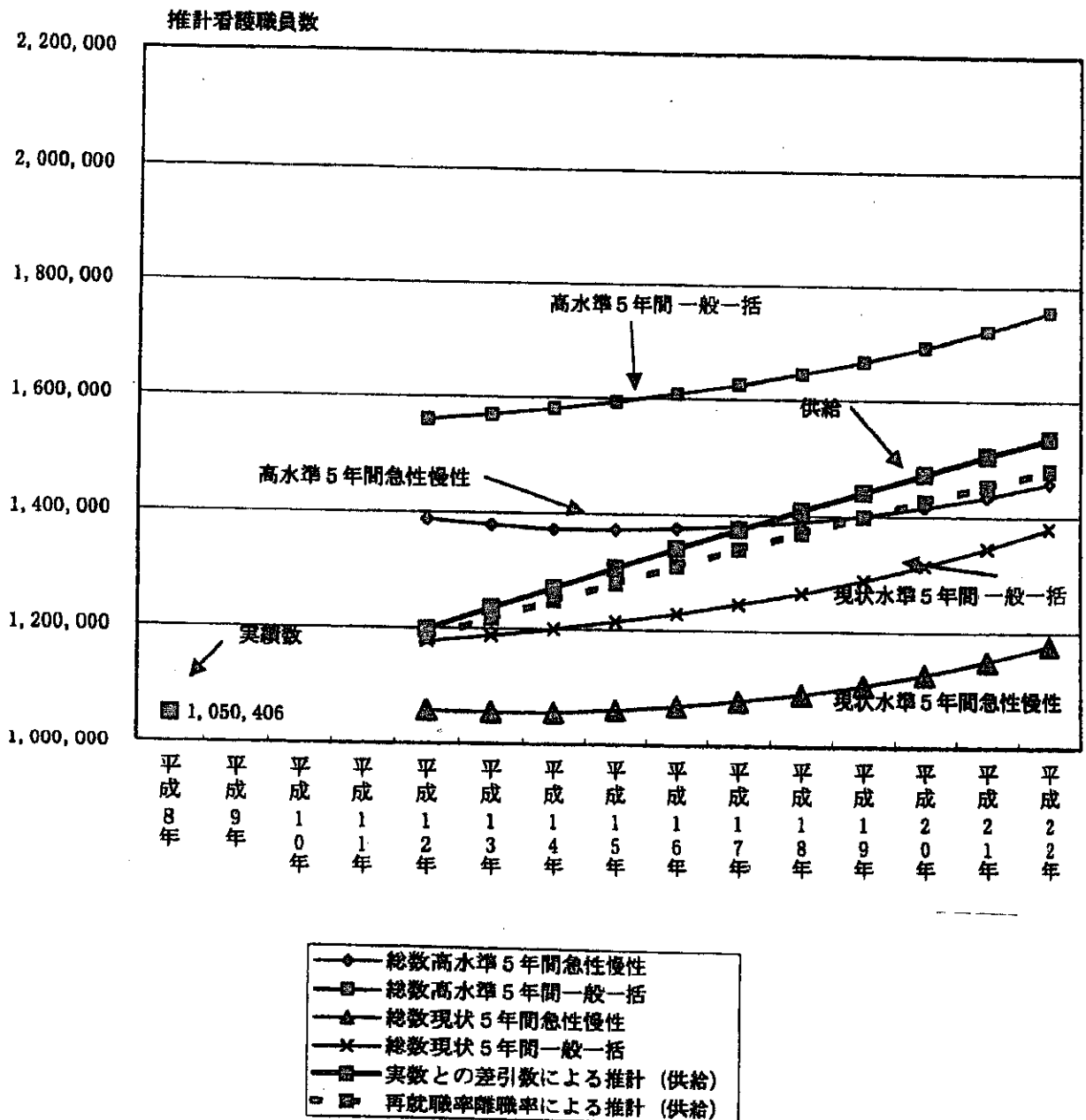
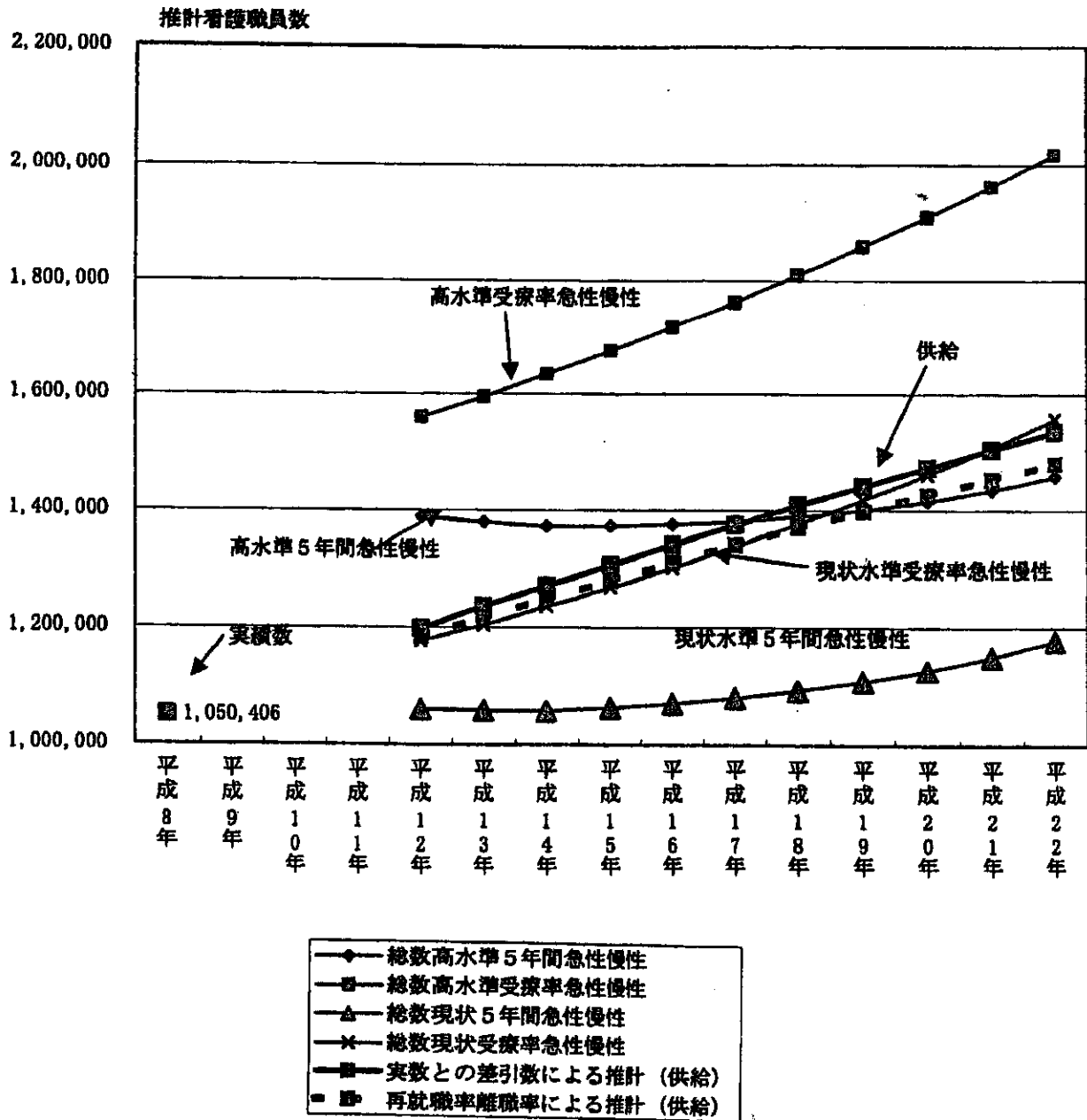


図2 需要と供給の推計（病床利用率過去5年・受療率・急性慢性区分）



1 需要の推計について

病院における看護職員数の推計において、患者数の推計には病床利用率および受療率を用いているが、特に受療率に基づく推計についていえば、平成8年の受療率を用い平成22年の人口構成の変化を勘案して推計した。この結果は、現行のままで医療供給体制等が変わらなかったと仮定した場合の結果である。ここには介護保険でカバーされるものや在宅医療に吸収されるものも含まれていると考えられる。しかし、現実社会では介護保険制度や療養型病床群など様々な対策がすでに実施されていることもあり、これらの変化の中で平成8年の受療率がそのまま平成22年まで続くとは考えられにくいだろう。

病院における一般病床については、従来どおり「一般病床」として、総体としての病床数を予測する方法に加え、一般病床を「急性期病床」「慢性期病床」に区分しそれぞれについて病床数ならびに看護職員配置についての予測を行う方法を取った。後者は一般病床が直ちに「急性期病床」「慢性期病床」として機能が区分されるべきであるとの趣旨によるものではなく、98年以降老人病床および一部一般病床から療養型病床群への転換が急速に進行し、99年1月時点で約15万床を数えるに至った現在の医療供給体制再編の情勢を受けたものである。この方法による推計は、従来の病床数あたりの看護職員の配置だけでなく、患者ケアのニーズ量に応じた看護職員の配置から人的資源の活用を検討する上での資料となりうる。ただし、「急性期病床」「慢性期病床」の推移に影響する要因等について、多面的な検討は加えていないことを前提に読むべき数値である。

また、患者数に対する必要看護職員数による推計について、「現状水準」と「高水準」で推計した。現状水準とは、看護サービスの質も、看護職の労働条件も変わらない場合である。患者に投入される看護サービス量の増加をかはかりつつ看護職員の処遇改善をも進める必要があるという立場に立てば、少なくとも処遇改善分として客観化できる増員を見込んだ必要看護職員数の推計が必要である。しかしながら、同時に考慮されるべき患者に投入されるべき看護サービス量の目標は現時点では客観的に定量化されておらず、必要看護職員数の推計指標とすることができない。

本研究における「高水準による推計」では、従来の患者対看護職員数の伸びにより推計される患者対看護職員数を必要看護職員数とみなし、かつ処遇改善分の増員を見込んだ。この推計においては患者対看護職員数の伸びに含まれているであろう処遇改善分とあわせ処遇改善分が二重にカウントされることになるが、これは処遇改善の確保を重視したためであり、「高水準による推計」における「従来の患者対看護職員数の伸びにもとづく増員」によって処遇改善が担保されるか否かについての検証を行っていないことにより、便宜的に選択された手法である。現在までの入院患者対看護職員数の増加に含まれている看護職員の労働条件・処遇の改善分については、過去の実績の分析により明らかにすることが可

能であり、これにより明らかになるこの間の患者一人当りの看護サービス投入量の分析とともに今後の課題であるといえよう。

100床当たりの看護職員数については、現行の「看護職員需給見通し」では、結果的には現実にフィットしたものとなっている(Ⅱ章, p 6)。病床数と比較すると、ある程度右肩上がりで改善されていく傾向があるため、過去のトレンドに基づいた予測がしやすいという面はある。しかし、療養型病床群への転換の状況に合わせた推計の見直しが必要になるろう。

現行の「需給見通し」では駆け込み増床により病床予測は外れた形になっているが、今回の推計でも病床数の推計には不確定要因があることは否めない。特に、療養型病床群への転換が急速に進展しており、既に15万床を突破していること等から、病床数予測にはかなりの困難性がある。特に第4次医療法改正案が審議継続中であり、政策的な病床規制のあり方が不透明な現時点における予測には自ずと限界がある。

2 供給推計について

今回の推計では平成12年の見込み定員で一定とした。このことは今後10年間で18歳人口は約36万人減少する中で、看護婦養成学校への入学者数が減少しないことを前提としているために、過大見積もりの可能性もある。現実的には、女子の職業選択の幅が広がりつつあるこれから、少子化社会の中で現在の入学者定員を満たすには、看護を魅力ある職業として社会に今まで以上にアピールするとともに、看護職が期待される働きを現実的に示していく必要があるだろう。

また、40万人以上ともいわれる潜在看護婦の存在は、看護婦供給の大きな攪乱要因となる可能性がある。潜在看護婦の動向は、経済状況に依存する部分はかなりあり、予測が困難である。

これからの看護職の就業形態は、多様化する可能性が大である。例えば、今までは1人で行ってきたことをワークシェアリングという形で、複数の看護婦による業務分担が生じる可能性も考えられる。このような変化がおこると、看護職員にとっても離職の要因でもある仕事と育児、介護の両立の問題をクリアでき、離職率の予防にもつながるであろう。

Ⅶ 今後の課題

1. 保健医療供給体制の変化に伴う看護職の需要数の見直しの必要性

看護職の需要への影響要因となる保健医療および介護関連政策が流動的であるため、推計結果は政策により変動しうる。現時点では、第4次医療法改正に向けた審議が継続中であり、このような時期に実施した本研究の結果は、これからの需給を的確に予測するには限界がある。今後、保健医療および介護の供給体制に関する政策が変更されると同時に推計の見直しと修正が必要である。

2. 職種別分析について

今回の看護職需給推計は職種を分けずに行った。今後、職種を分けた推計も綿密に行うことにより、看護職の供給計画がより有効なものになるであろう。

3. 経済的視点からの分析の必要性

医療費が高騰している今日、看護職の需給の推計も医療経済の視点を含めた分析が必要になろう。医療費や在院日数の軽減のために、看護がどのような働きができるかについての研究も必要になろう。

4. 看護サービスの質と需給との関連について

必要看護職員数の推計に際してそれぞれの方法において看護職員の処遇改善に相当する増員を見込んだ。しかしながら患者サービスの向上（患者に投入される看護サービス量の増）に相当する増員については明確な位置付けをなしえなかった。今後の患者サービス向上を見込んだ必要看護職員の推計方法については今後の課題であるといえる。

さらに、患者サービスの向上という観点からは患者に投入されるサービス量を単に看護職員の人数ないし労働時間に還元するだけでなく、専門看護師等のより質の高いサービスを提供する看護職員の活用によるサービスの質の向上についても、今後の検討課題である。専門看護師等は看護職者集団に対し、患者ケアに際してのコンサルテーションを行うなど、集団の看護実践の質の向上に資する人的資源として、絶対数は少なくとも、効果的にその機能を発揮し患者サービスの向上に寄与することが期待される。

資 料

資料 1 病院の施設数・病床数の推移 (過去)

病院の施設数の推移

	総数	精神病院	伝染病院	結核療養所	らい療養所	一般病院
昭和63年	10,034	1,048	12	18	16	8,940
平成元年	10,081	1,047	11	16	16	8,991
平成2年	10,096	1,049	10	15	16	9,006
平成3年	10,066	1,046	10	13	16	8,981
平成4年	9,963	1,052	7	11	16	8,877
平成5年	9,844	1,059	7	11	15	8,752
平成6年	9,731	1,060	6	9	15	8,641
平成7年	9,606	1,059	5	8	15	8,519
平成8年	9,490	1,057	5	7	.	8,421
平成9年	9,413	1,055	5	6	.	8,347

出典：医療施設調査(生態調査、動態調査)、病院報告

病院の病床数の推移

	総数	精神病床	伝染病床	結核病床	らい病床	一般病床	老人病床(再)	特別許可	療養型
昭和63年	1,634,309	352,504	13,226	46,256	9,887	1,212,436	.	老人病床(再)	病床群(再)
平成元年	1,661,952	355,743	12,621	44,050	9,655	1,239,883	.	.	.
平成2年	1,676,803	359,087	12,199	42,210	9,398	1,253,909	3,703	145,160	.
平成3年	1,685,589	360,905	11,868	41,280	9,394	1,262,142	.	.	.
平成4年	1,686,696	361,982	11,285	39,570	9,140	1,264,719	.	.	.
平成5年	1,680,952	362,436	11,061	37,043	8,833	1,261,579	9,516	172,218	2,823
平成6年	1,677,041	362,847	10,343	35,385	8,718	1,259,748	.	.	10,735
平成7年	1,669,951	361,714	9,974	33,163	8,633	1,256,467	.	.	20,758
平成8年	1,664,629	360,896	9,716	31,179	.	1,262,838	15,911	177,384	37,872
平成9年	1,660,784	359,778	9,408	29,488	.	1,262,110	.	.	56,522

出典：医療施設調査(生態調査、動態調査)、病院報告

資料2 総病床数の推移

総病床数（一般病床、精神病床、伝染病床）の推移（H5 - H9年増加率平均による）

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
一般病床	1,270,412	1,268,466	1,265,100	1,262,838	1,262,110	1,260,043	1,257,979	1,255,919	1,253,862	1,251,809	1,249,759	1,247,712	1,245,668	1,243,628	1,241,592	1,239,558	1,237,528	1,235,501
精神病床	362,336	362,847	361,714	360,996	359,778	359,117	358,456	357,797	357,139	356,483	355,828	355,173	354,520	353,869	353,218	352,569	351,920	351,273
伝染病床	37,043	35,385	33,163	31,179	29,488	27,854	26,310	24,851	23,474	22,173	20,944	19,783	18,686	17,651	16,672	15,748	14,875	14,051
合計	1,680,952	1,677,041	1,669,951	1,664,629	1,660,784	1,656,068	1,651,422	1,646,900	1,642,478	1,638,149	1,633,910	1,629,755	1,625,681	1,621,684	1,617,759	1,613,903	1,610,113	1,606,385
増加率	8.833	8.633																
その他一般																		
老人	181,734	185,509	189,362	193,295	197,310													
療養型病床群	10,735	2,823	20,758	37,872	55,522													

注：平成10年以降は予測値 H5 - H9年増加率平均 一般：-0.16% 精神：-0.18% 結核：-5.54% 伝染：-3.97%

(2)

病床数の推移（一括）（H5 - H9年増加率平均による）

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
病床数総計	1,680,952	1,677,041	1,669,951	1,664,629	1,660,784	1,655,780	1,650,791	1,645,817	1,640,858	1,635,914	1,630,985	1,626,071	1,621,171	1,616,286	1,611,415	1,606,561	1,601,720	1,596,894

注：平成10年以降の病床数はH5 - H9年増加率平均 -0.30%

職種別看護職員数

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
保健婦	1,692	1,725	1,739	1,785	1,760
保健士	0	0	1	8	6
助産婦	15,340	15,582	16,044	16,430	16,792
看護婦	388,274	407,913	426,653	442,177	457,754
看護士	11,402	12,305	13,329	14,625	15,331
准看護婦	228,534	229,587	229,611	228,733	227,406
准看護士	13,860	14,010	14,678	16,113	16,122
看護職員総計	659,102	681,122	702,055	719,891	735,171

資料 3 病床 100 床あたりの看護職員数による看護職員数の推計 (比較)

①期行方式を用いたの病床100床当たりの期行推計
推計結果

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
病床数	1,580,952	1,677,041	1,669,951	1,664,029	1,660,794	1,655,780	1,650,791	1,645,817	1,640,858	1,635,914	1,630,965	1,626,011	1,621,171	1,616,286	1,611,416	1,606,561	1,601,720	1,596,894

注：平成10年以降の病床数は、平成5年から平成9年までの伸び率で推計 (-0.30%)

推計 1 (100床当たりの看護職員数が平成9年で一定とした場合)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
100床当たり看護職員(推計1)	38.21	40.61	42.04	43.25	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27
看護職員総計(推計1)	659,102	681,122	702,055	719,891	735,171	732,956	730,741	728,546	726,350	724,152	721,950	719,805	717,636	715,473	713,318	711,168	709,026	706,889

推計 2 (100床当たりの看護職員数が、平成5年から平成9年の伸び率で増加するとした場合)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
100床当たり看護職員(推計2)	39.21	40.61	42.04	43.25	44.27	45.61	47.09	48.48	49.96	51.51	53.10	54.73	56.42	58.16	59.95	61.79	63.70	65.66
看護職員総計(推計2)	659,107	681,122	702,055	719,891	735,171	755,522	776,437	797,931	820,019	842,719	866,048	890,022	914,660	939,980	966,001	992,743	1,020,224	1,048,466

注：100床当たりの看護職員数の伸び率は、1.09%とした。

資料 4 病床 100 床あたりの看護職員数による看護職員数の推計 (平成 9 年実績による)

病床数の推移 (一括) (H5 - H9 年増加率平均による)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
病床数総計	1,680,952	1,677,041	1,669,951	1,664,629	1,660,784	1,655,780	1,650,791	1,645,817	1,640,858	1,635,914	1,630,985	1,626,071	1,621,171	1,616,286	1,611,416	1,606,561	1,601,720	1,596,894

※ H5 - H9 年増加率平均 - 0.3%

病床 100 床当たりの看護職員数 (平成 9 年実績による)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
保健師	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
保健士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
助産師	0.91	0.93	0.96	0.99	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
看護婦	23.10	24.32	25.55	26.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56
看護士	0.68	0.73	0.80	0.88	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92
准看護婦	13.60	13.69	13.75	13.74	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69	13.69
准看護士	0.82	0.84	0.88	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97
看護職員総計	39.21	40.61	42.04	43.25	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27	44.27

看護職員数の推計

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
保健師	1,692	1,705	1,739	1,760	1,760	1,755	1,749	1,744	1,739	1,734	1,728	1,723	1,718	1,713	1,708	1,703	1,697	1,692
保健士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助産師	15,340	15,582	16,044	16,430	16,792	16,741	16,691	16,641	16,591	16,541	16,491	16,441	16,391	16,342	16,293	16,244	16,195	16,146
看護婦	388,274	407,913	426,653	442,177	457,754	456,375	455,000	453,629	452,262	450,899	449,541	448,186	446,836	445,489	444,147	442,809	441,475	440,144
看護士	11,402	12,305	13,329	14,425	15,331	15,285	15,239	15,193	15,147	15,101	15,056	15,011	14,965	14,920	14,875	14,830	14,786	14,741
准看護婦	228,534	229,587	229,611	228,753	227,406	226,721	226,038	225,357	224,678	224,001	223,326	222,653	221,982	221,313	220,646	219,981	219,319	218,658
准看護士	13,860	14,010	14,678	16,113	16,122	16,073	16,025	15,977	15,929	15,881	15,833	15,785	15,737	15,690	15,643	15,596	15,549	15,502
看護職員総計	659,102	681,122	702,055	719,891	735,171	732,956	730,747	728,546	726,350	724,162	721,980	719,805	717,636	715,473	713,318	711,168	709,026	706,889

資料5 病床100床あたりの看護職員数による看護職員数の推計(平成5年～9年の増加率平均による)

病床数の推移(一括)(H5～H9年増加率平均による)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
病床数総計	1,680,952	1,677,041	1,689,951	1,664,829	1,660,784	1,655,780	1,650,791	1,645,817	1,640,838	1,635,914	1,630,965	1,626,071	1,621,171	1,616,266	1,611,416	1,606,561	1,601,720	1,596,894

病床100床当たりの看護職員数 H5～H9年増加率平均による

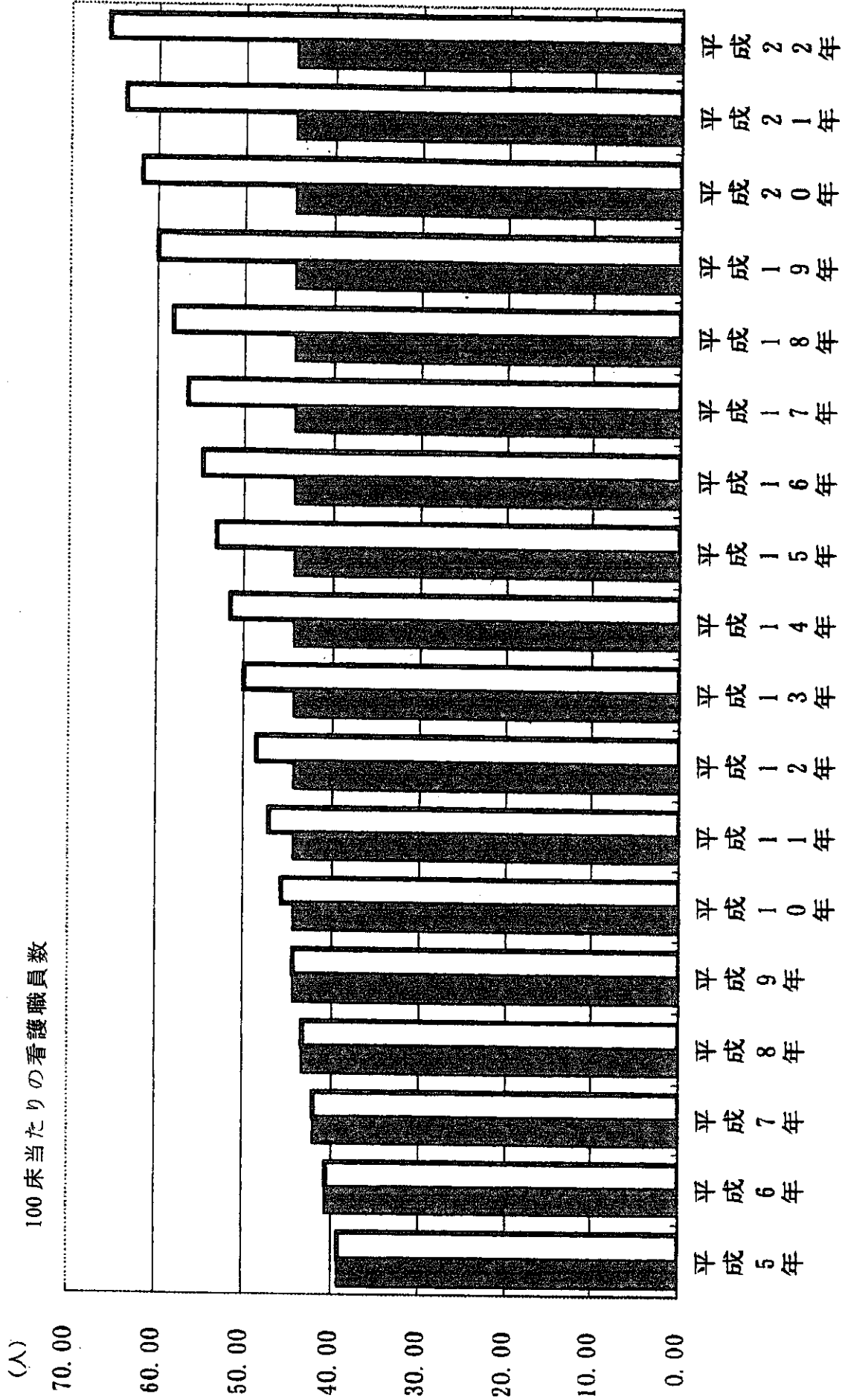
	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
保健師	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13
保健士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
助産師	0.91	0.93	0.96	0.99	1.01	1.04	1.06	1.09	1.12	1.15	1.18	1.21	1.24	1.27	1.31	1.34	1.38	1.41
看護婦	23.10	24.32	25.55	26.56	27.56	28.81	30.11	31.47	32.89	34.37	35.93	37.55	39.35	41.02	42.87	44.81	46.83	48.95
看護士	0.68	0.73	0.80	0.88	0.92	1.00	1.08	1.16	1.26	1.36	1.47	1.58	1.71	1.85	1.99	2.15	2.33	2.51
准看護婦	13.60	13.69	13.75	13.74	13.69	13.72	13.74	13.77	13.79	13.82	13.84	13.86	13.89	13.91	13.94	13.96	13.99	14.01
准看護士	0.82	0.84	0.88	0.97	0.97	1.01	1.05	1.10	1.14	1.19	1.24	1.29	1.35	1.40	1.46	1.52	1.58	1.65
看護職員総計	39.21	40.61	42.04	43.35	44.27	45.63	47.03	48.48	49.98	51.51	53.10	54.73	56.42	58.16	59.95	61.79	63.70	65.66

※ H5～H9年増加率平均 3.08%

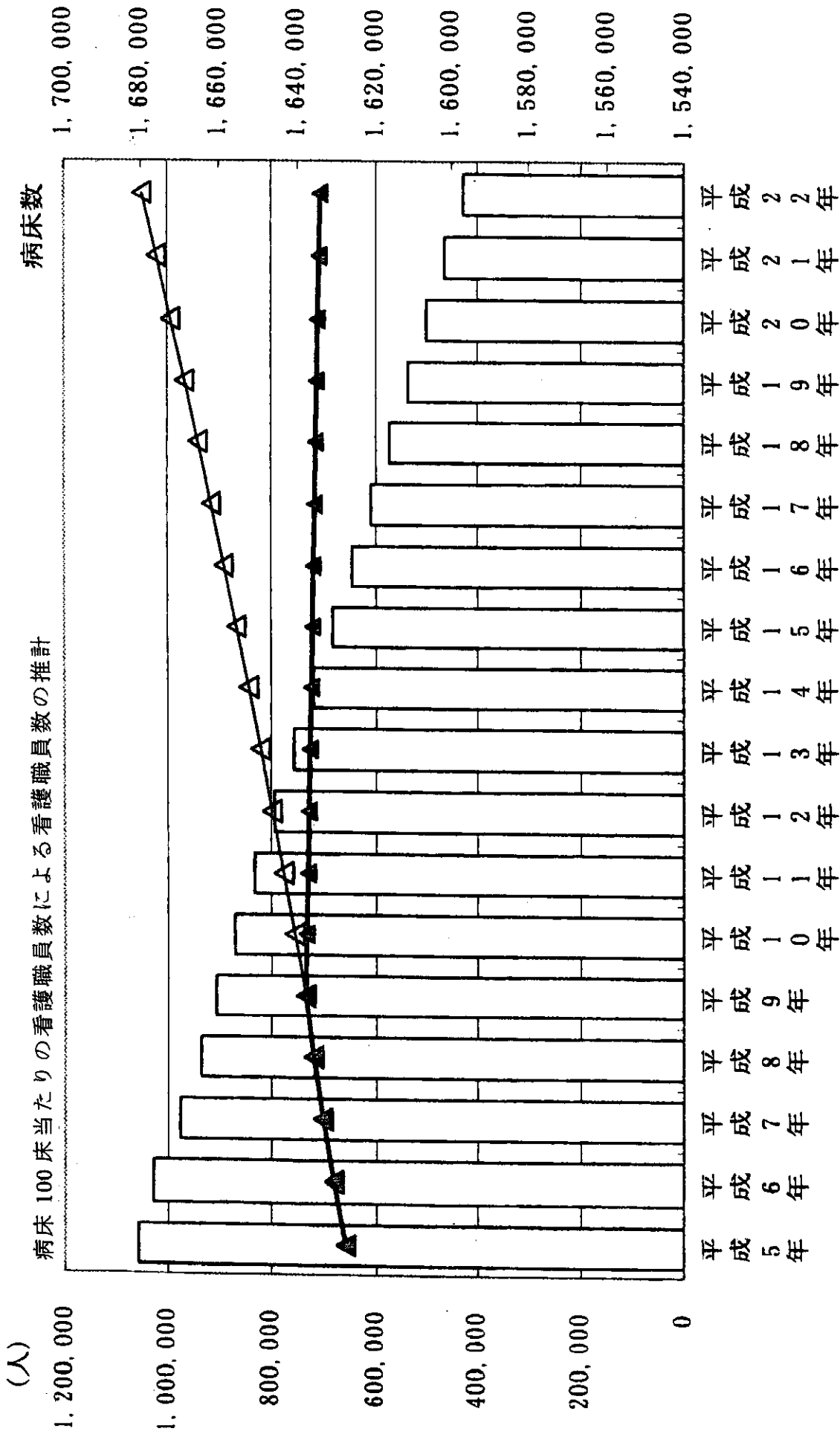
看護職員数の推計

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
保健師	1,692	1,775	1,739	1,785	1,760	1,777	1,795	1,813	1,831	1,849	1,867	1,886	1,904	1,923	1,942	1,961	1,981	2,000
保健士	0	0	1	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
助産師	15,340	15,582	16,044	16,430	16,792	17,176	17,569	17,971	18,381	18,802	19,232	19,671	20,121	20,581	21,052	21,533	22,026	22,530
看護婦	388,274	407,913	426,653	442,177	457,754	476,986	497,026	517,908	539,657	562,341	585,967	610,585	636,238	662,969	690,823	719,847	750,090	781,605
看護士	11,402	12,305	13,329	14,625	15,331	16,509	17,777	19,143	20,614	22,198	23,903	25,740	27,717	29,847	32,140	34,609	37,268	40,132
准看護婦	228,534	229,587	229,611	228,753	227,406	227,125	226,844	226,564	226,284	226,004	225,724	225,445	225,167	224,888	224,610	224,333	224,055	223,778
准看護士	13,860	14,010	14,678	16,113	16,122	16,743	17,368	18,058	18,753	19,475	20,226	21,005	21,814	22,654	23,527	24,433	25,374	26,351
看護職員総計	659,102	681,122	702,055	719,991	735,171	755,522	776,497	797,931	820,019	842,719	866,048	890,022	914,660	939,980	966,001	992,743	1,020,224	1,048,466

資料 6 100床あたりの看護職員数



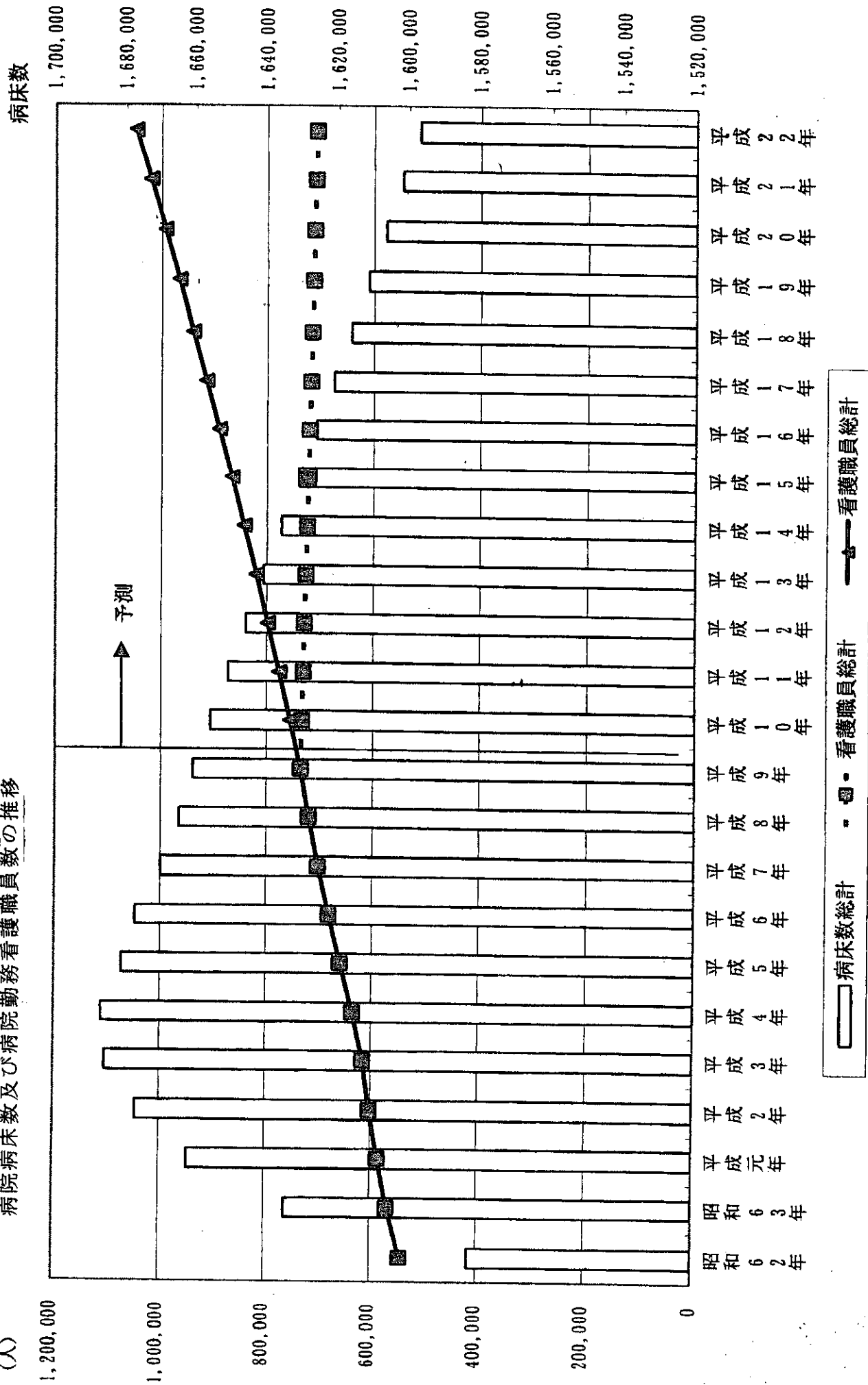
資料7 病床100床あたりの看護職員数による看護職員数の推移



□ 病床数 ▲ 看護職員総計 (推計1) △ 看護職員総計 (推計2)

(100床当たりH9年実績による) (100床当たりH5-H9年増加率平均による)

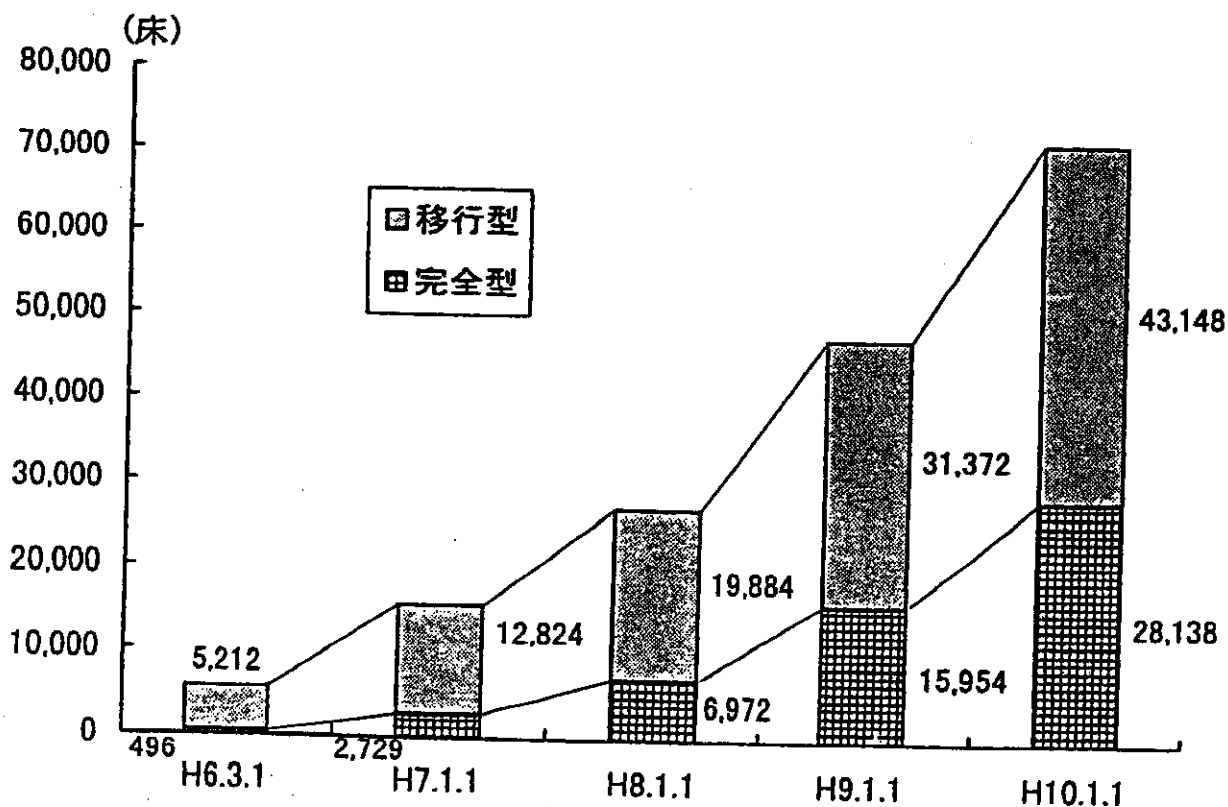
資料8 病院病床数及び病院勤務看護職員数の推移
 (人) 病院病床数及び病院勤務看護職員数の推移



資料9 療養型病床群開設許可施設数・病床数

療養型病床群開設許可施設数、病床数

		H6.3.1	H7.1.1	H8.1.1	H9.1.1	H10.1.1
施設数 (ヶ所)	完全型	7	31	77	139	252
	移行型	78	192	278	426	570
	併用型	2	7	13	26	47
	合計	87	230	368	591	869
		H6.3.1	H7.1.1	H8.1.1	H9.1.1	H10.1.1
病床数 (床)	完全型	496	2,729	6,972	15,954	28,138
	移行型	5,212	12,824	19,884	31,372	43,148
	合計	5,708	15,553	26,856	47,326	71,286



(出典:健康政策局調査)

資料 10 老人病院の患者数推計・老人病床の推計 (過去)

・老人病院の患者数の推計

平成8年

老人病床数	老人のみの病床数	在院患者延数	新入院患者数	退院患者数
193,295	118,688	40,898,302	192,086	190,749

医療施設調査・病院報告

推計患者数

年次	推計老人病床数	在院患者延数	新入院患者数	退院患者数
平成5年	181,734	62,623,113	294,120	292,073
平成6年	(185,509)	63,923,927	300,230	298,140
平成7年	(189,362)	65,251,620	306,466	304,332
平成8年	193,295	66,606,879	312,831	310,653
平成9年	(197,310)	67,990,395	319,329	317,106

老人病床数の推計

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
伸び率固定 2.08%	181,734	185,509	189,362	193,295	197,310	201,408	205,591	209,862
平成5年	181,734							
平成8年	193,295							

資料 11 療養型病床群の患者数

1. 療養型病床群の患者数

	療養型病床数	在院患者延数	新入院者数	退院患者数		平均在院日数
平成5年	2,823					
平成6年	10,735	2,904,171	15,215	16,146	15,681	185.2
平成7年	20,758	6,126,244	30,168	33,212	31,690	193.3
平成8年	37,872	10,948,646	45,133	52,175	48,654	225.0
平成9年	56,522	17,708,534	66,319	79,777	73,048	242.4

2. 推計老人病床と患者数

	療養型病床数	在院患者延数	新入院者数	退院患者数		平均在院日数
平成5年	181,734	62,623,113	294,120	292,073	293,097	213.7
平成6年	185,509	63,923,927	300,230	298,140	299,185	213.7
平成7年	189,362	65,251,620	306,466	304,332	305,399	213.7
平成8年	193,295	66,606,879	312,831	310,653	311,742	213.7
平成9年	197,310	67,990,395	319,329	317,106	318,218	213.7

3. 療養型病床群と推計老人病院の病床数と患者数

慢性期

	病床数	在院患者延数	新入院者数	退院患者数		平均在院日数
平成6年	196,244	66,828,098	315,445	314,286	314,866	212.2
平成7年	210,120	71,377,864	336,634	337,544	337,089	211.7
平成8年	231,167	77,555,525	357,964	362,828	360,396	215.2
平成9年	253,832	85,698,929	385,648	396,883	391,266	219.0

4. 1日平均在院患者数と病床利用率

慢性期

	1日平均在院患者数
平成6年	183,091
平成7年	195,556
平成8年	211,900
平成9年	234,792

病床利用率
93.3
93.1
91.7
92.5

平均利用率	92.7
-------	------

資料 12 一般病床・老人病床・療養型病床群患者数推計（過去）

1. 一般病床の患者数

	病床数	在院患者延数	新入院者数	退院患者数		平均在院日数
平成6年	1,268,466	375,801,390	10,869,224	10,858,324	10,863,774	34.6
平成7年	1,265,100	377,925,791	11,218,413	11,209,775	11,214,094	33.7
平成8年	1,262,838	383,479,646	11,442,317	11,427,230	11,434,774	33.5
平成9年	1,262,110	381,364,795	11,623,996	11,649,760	11,636,878	32.8

2. 療養型病床群と老人病院の推計病床数と推計患者数

慢性期病床

	病床数	在院患者延数	新入院者数	退院患者数		平均在院日数
平成6年	196,244	66,828,098	315,445	314,286	314,866	212.2
平成7年	210,120	71,377,864	336,634	337,544	337,089	211.7
平成8年	231,120	77,555,525	357,964	362,828	360,396	215.2
平成9年	253,832	85,698,929	385,648	396,883	391,266	219.0

3. 一般病床から療養型病床群と老人病病院の推計病床と推計患者数を差し引いた数値(推計)

急性期病床

	病床数	在院患者延数	新入院者数	退院患者数		平均在院日数
平成6年	1,072,222	308,973,292	10,553,779	10,544,038	10,548,909	29.3
平成7年	1,054,980	306,547,927	10,881,779	10,872,231	10,877,005	28.2
平成8年	1,031,718	305,924,121	11,084,353	11,064,402	11,074,378	27.6
平成9年	1,008,278	295,665,866	11,238,348	11,252,877	11,245,613	26.3

4. 1日平均在院患者数と病床利用率

急性期病床

	1日平均在院患者数
平成6年	846,502
平成7年	839,857
平成8年	835,858
平成9年	810,043

	病床利用率
	78.9
	79.6
	81.0
	80.3

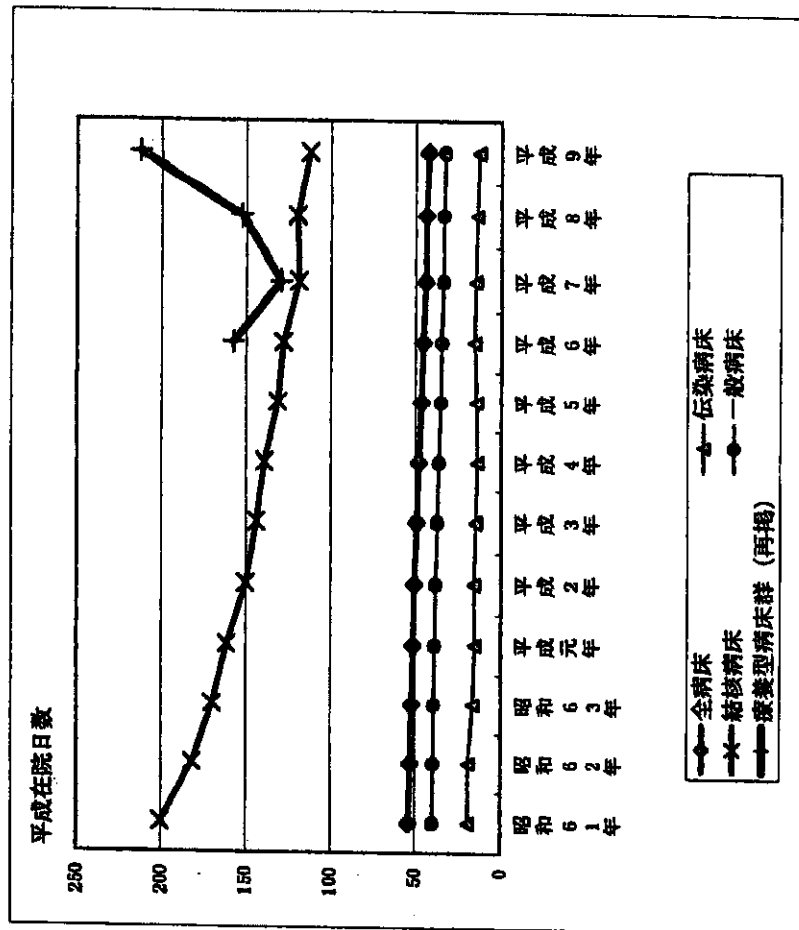
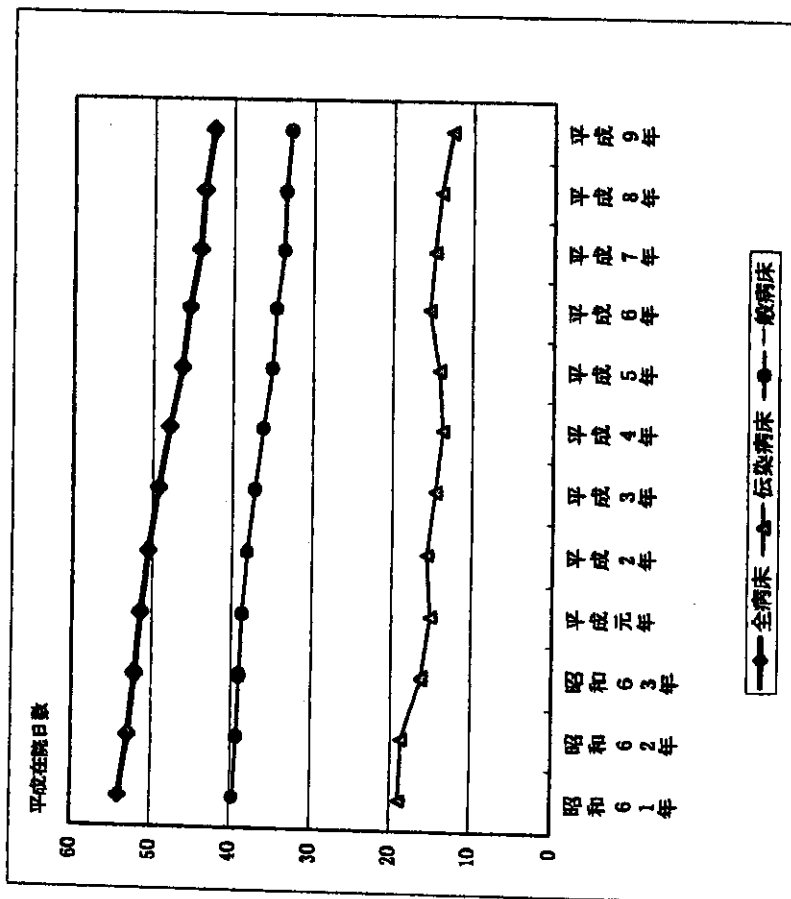
平均利用率	80.0
-------	------

資料 13 平均在院日数の変化 (1/2)

全国

表：平均在院日数の変化

	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
全病床	54.0	52.9	52.1	51.4	50.5	49.3	47.9	46.4	45.5	44.2	43.7	42.5
精神病床	532.6	522.3	509.0	496.1	489.6	492.1	485.5	470.9	468.2	454.7	441.4	423.7
伝染病床	18.9	18.7	16.2	15.1	15.6	14.6	13.7	14.2	15.4	14.8	14.0	12.6
結核病床	200.3	181.6	169.9	161.3	150.2	143.9	139.0	131.2	128.1	119.0	119.8	112.5
らい病床	10,735.5	9,365.5	10,884.2	12,616.8	11,524.0	12,685.3	10,758.3	10,028.0	11,525.2	9,118.1		
一般病床	39.7	39.3	39.0	38.7	38.1	37.2	36.2	35.1	34.6	33.7	33.5	32.8
療養型病床群 (再掲)									157.5	129.4	152.6	212.5



資料 13 (2/2)

